

お店屋さんごっこ～経験を形にして表現してみる～ R5.8.4



お店で食べたお寿司を作ろうとスズランテープの色合いを見て作り出すと広がる製作の輪。お祭りがあることを知ると焼きそばや唐揚げを作る子もいました。それぞれが作りたいものを作り並べてみると自然と役割が出来てお店屋さんごっこが始まっていました。



おいしそう！

おすしたりないかも



ここにピッてできるように…



4こまでです



なんかかっていいの？

お客さんを呼びたいけど、どのくらい作ったら良いのか想像できず…話し合っても答えは出ず、机に並べてみたり実際に遊びながらどのくらい買えそうか考えたり、買ってもらった商品を返してもらうのか持って帰ってもらうのかを聞くと持って帰ってもらうと即答。お店でのやり取りを楽しみ持ち帰る嬉しさも想像して楽しんでもらおうと考えられていました。遊びを継続して目標に向けて協力して楽しむ経験や達成感を感じられる遊びになりました。